

令和元年度 国道168号防災検討会（第1回）  
説明資料  
令和元年12月4日

**（2）地域の現状と課題、  
奈良県検討ルートについて**

# 1. 五條新宮道路の概要

- 一般国道168号五條新宮道路は、和歌山県新宮市から奈良県五條市を結ぶ延長約130kmの地域高規格道路であり、「紀伊半島アンカールート」の一部を形成し、高規格幹線道路の空白地帯である紀伊半島内陸部を南北に縦貫する極めて重要な幹線道路。
- 住民の生活と安全を守る「いのちの道」として、防災面のみならず、人と物の流れを活発化し、地域の活性化を図る上で必要不可欠な道路であるが、未改良区間が残っているため、幹線ネットワークの連続性が確保されておらず、国と県で早期完成に向けて整備中。

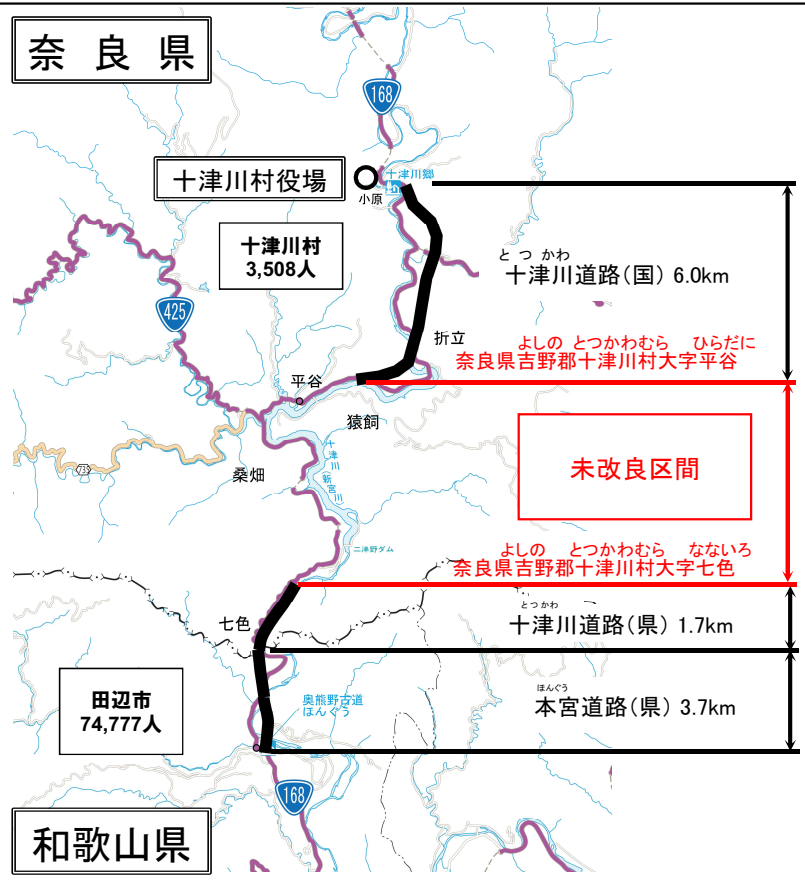
広域図



高規格幹線道路

供用済	
事業中	

アンカールート



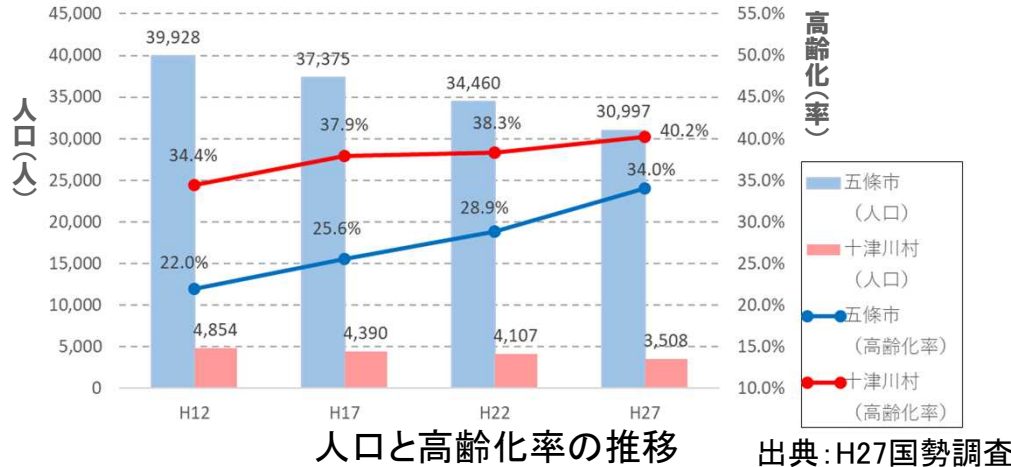
凡例	
	供用済

出典(人口): 平成27年国勢調査

# 2. 地域の現状

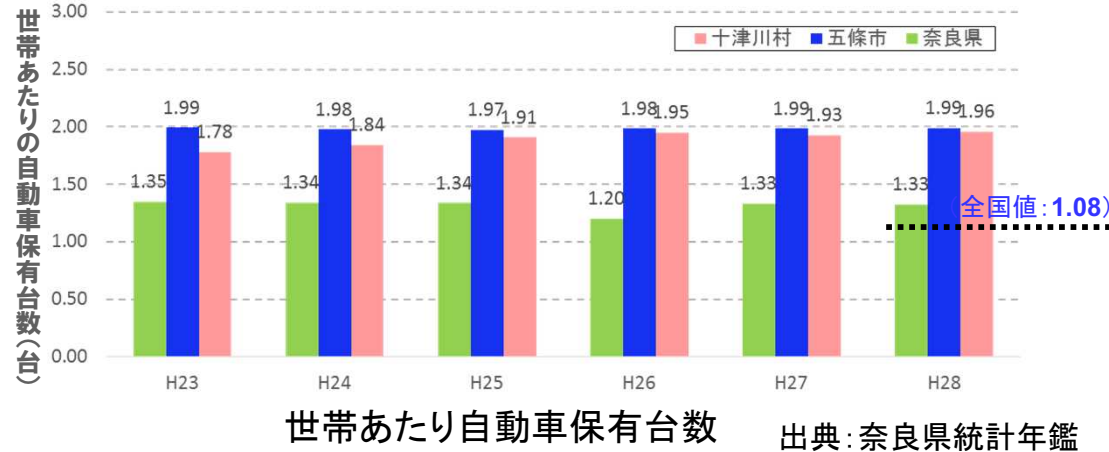
## 【人口動態】

- 十津川村の人口はH12～H27年において減少傾向
- 高齢化率(65歳以上人口率)は増加傾向



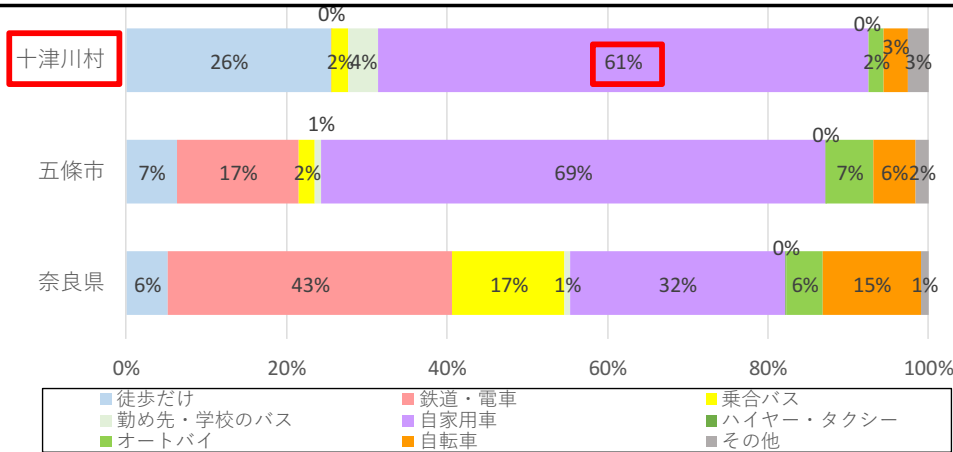
## 【自動車保有台数】

- 世帯あたりの自動車保有台数は奈良県全体が1.3台程度であるのに対し、十津川村では2.0台程度となっており、高い水準で推移



## 【交通手段】

- 自動車分担率(通勤通学時)は奈良県全体が32%であるのに対し、十津川村では61%となっており、自動車依存度が高い



交通手段分担率(通勤通学時)

出典: H22国勢調査

## 【通勤通学者流動】

- 十津川村からの通勤通学者流動のうち、十津川村内々の流動が最も多く、全体の97.6%を占める。
- また、十津川村への通勤通学は和歌山県及び他県からが11.1%となる。

### 発生(十津川村)

	通勤通学者数	割合
十津川村内々	1486	97.6%
奈良県	15	1.0%
(五條市)	8	0.5%
(その他)	7	0.5%
和歌山県	14	0.9%
(田辺市)	8	0.5%
(新宮市)	6	0.4%
他県	7	0.5%
合計	1522	100%

### 集中(十津川村)

	通勤通学者数	割合
十津川村内々	1486	82.0%
奈良県	125	6.9%
(五條市)	42	2.3%
(その他)	83	4.6%
和歌山県	142	7.8%
(田辺市)	82	4.5%
(新宮市)	30	1.7%
他県	59	3.3%
合計	1812	100.0%

十津川村の通勤通学流動

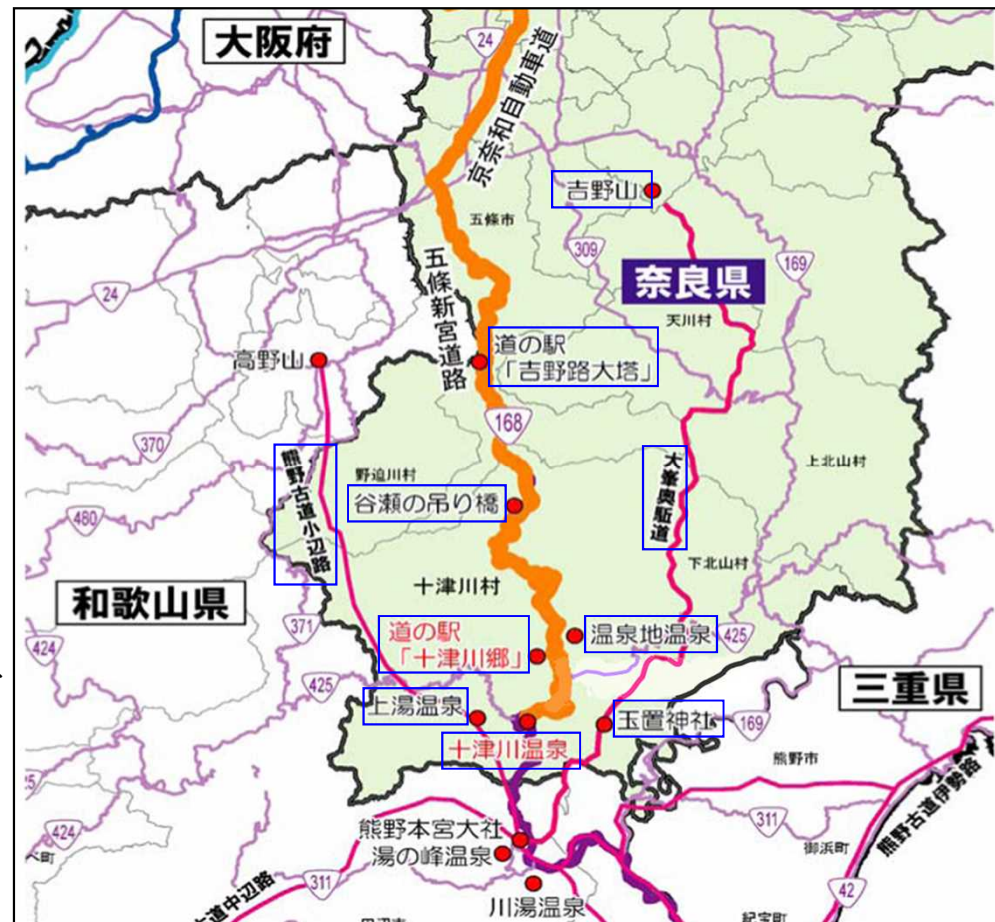
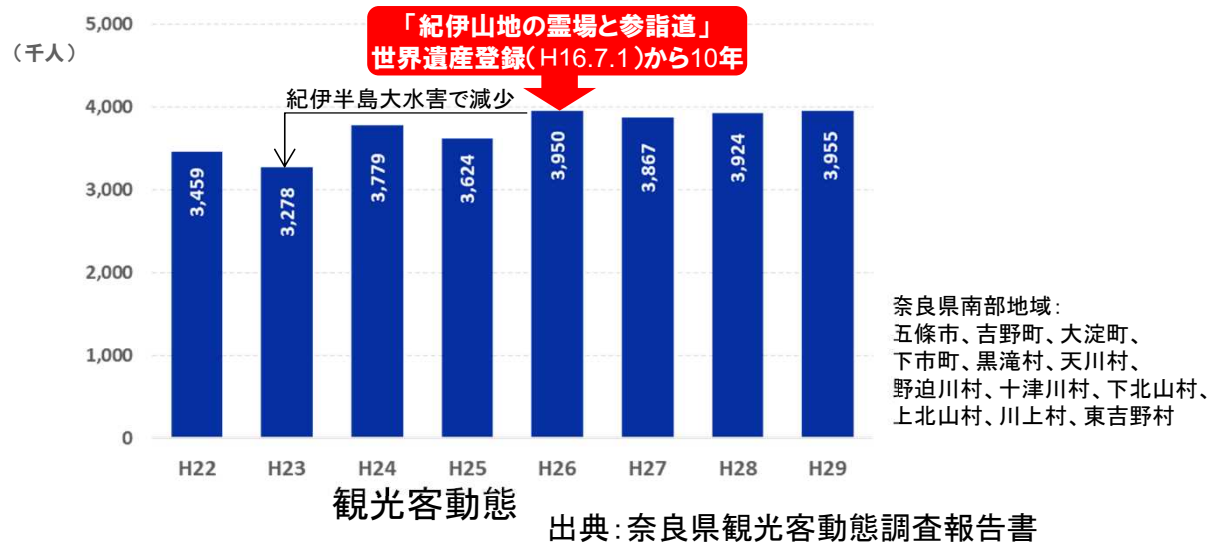
出典: H27国勢調査



# 2. 地域の現状

## 【観光産業動向】

➤ 奈良県南部地域の観光客数は、紀伊半島大水害(H23年度)で落ち込んだものの、世界遺産登録(H16年度)から10年を経て、390万人程度で推移



谷瀬の吊り橋  
出典: 十津川村役場



玉置神社  
出典: 玉置神社ウェブサイト



熊野古道小辺路  
出典: 奈良県景観資産

凡例

- 熊野古道
- 観光施設
- 国道
- 京奈和自動車道へ至るルート